

資料紹介

郵政博物館保管 近現代絵画目録稿 (2)

—郵便貯金・簡易保険事業関係原画類—

郵政歴史文化研究会 第6分科会

1 調査の趣旨と経過

本稿は、昨年度に引き続いて郵政博物館（以下「当館」という）が管理する、明治時代以来の通信事業の中で制作された絵画資料について、その基礎的な情報を公開し、広く学術的、社会的な利用の参考に供しようとするものである。当館管理の絵画資料は膨大で、その全体像を把握するためには、かなりの期間が見込まれるため、将来の本格的な目録公開、刊行を視野に入れつつ、調査を終えたものから順次、目録稿本として本誌に掲載する。今回の対象は、通信省貯金局と簡易保険局の事業に関連した、主に第二次大戦までの原画類、計34点である。

調査は郵政歴史文化研究会第六分科会が郵政博物館の委託を受け、2023年度から2024年度にかけて郵政博物館資料センターで実施した。調査に参加したのは、分科会メンバーの田良島哲（主査）、杉山伸也、吉田暁子、大澤真理子と郵政博物館の菊池牧子、倉地伸枝、大橋恵美である。

2 調査対象と概要

今回、主な調査対象としたのは、通信総合博物館時代からの所蔵資料のうち分類番号「3704」と「4703」に属するもので、館の分類によると「3704」は郵便貯金関係、「4703」は簡易保険関係とされている。所蔵品を実査し、関係資料との照合を行ったところ、分類4703の作品28点については、一部郵便貯金関係が混在しているが、当該の絵画が簡易保険事業で広報媒体の原画として使われた実資料を確認できるものが多く、分類がおおむね妥当であることが裏付けられた。一方、分類3704の6点については、藤田嗣治の「少年と風」(3704-4)が郵便貯金百億円突破の記念絵葉書の原画であることが確認できるほか、中村不折の「書家」(3704-F)も紀元2600年記念の郵便貯金事業広報ポスターの原画（別に制作された書もおそらく不折の揮毫）である。こちらの分類では確実に関連のわかる資料はまだ少ないが、今後のポスターや絵葉書などの精査によって、これらの絵画と関係づけられることが予想される。引き続き調査を続けたい。

なお、簡易保険事業関連で制作された扇面画については、すでに当館から報告がなされているため、原則として本目録には掲載していないが、堅山南風「飛燕の図」(4703-14)は、本来当該の扇面画に含まれる作品であることが指摘されている⁽¹⁾。また、資料のほとんどは第二次大戦以前から戦中の制作になるが、大久保作次郎「山へ」(4703-11)のように、一部戦後のも

1 岩島美月「簡易生命保険誕生100年記念・扇面原画展『一竹内栖鳳から東山魁夷、平山郁夫まで一美をあふぐ 華麗なる巨匠たちの扇の世界展』」、『郵政博物館研究紀要』8、2017-03。

のを含んでいる。

③ 簡易保険局・貯金局の広報事業

郵便貯金が通信事業草創期の1874年（明治7年）に始まっているのに対して、簡易郵便保険（簡易保険）事業は1917年（大正6）に為替貯金局保険部という、いわば貯金事業の軒を借りて出発し、1920年に簡易保険局として独立した。しかし事業の周知という面では、創業当初からさまざまな媒体を利用しての事業周知や加入者獲得に力を入れており、郵便貯金のほうが後発の簡易保険の活発な広報から影響を受けた様子が見受けられる⁽²⁾。以下、大正から昭和前期にかけての簡易保険の事業周知について、多少の例示によりながら概観する。簡易保険局職員向けの社内誌にあたる雑誌『簡易保険』には、加入者獲得のための広報の手法が、かなり詳しく紹介されている。以下は、同誌第39号に掲載された1932年（昭和7）の一時期の広報である。

- 郵便年金種別周知用ビラ（7月）
- 事業周知講演会余興用フィルム（9月）
- 小児保険周知用葉（9月）
- 台湾保険、年金実施五周年記念ポスター（9月）
- 標語募集ポスター及ビラ（9月）
- 貯金箱の配布（9月）
- 名古屋衛生博覧会出陳（10月）
- マッチレット（10月）

ビラ、ポスター、葉、フィルム（映画）のほか、貯金箱が配布されているのが目を引く。小さな葉についても「関口隆嗣画伯の揮毫」による男子向け・女子向けの絵をそれぞれ入れた上、「画面を一層美化するためにニス引き印刷」と細かい配慮をしている。また博覧会には「小型平均余命表示機、国民保険体操自動人形、自動転換広告機、図表類」を出陳したほか、「事業標語入ゴム風船一万個」を配布した。

広報映画の制作は、すでに発足直後の1917年（大正6）に、次のような記事が見えており、その後、劇映画の中に簡易保険の効用を織り込むタイアップ作品を制作するなど、力を入れている⁽³⁾。

簡易保険の活動写真

通信省にては簡易生命保険普及の為め活動写真のフィルムを調製して過般試写を行ひたるが不日東西両部通信局の保管に移したる上先づ其の管内より一般に之を觀覽せしむる由なり

（『保険銀行時報』（842）、保険銀行時報社、1917-09.）

通信博物館には、早くから樋畑雪湖、小代為重といった美術家出身の職員が勤務し、通信事業における審美的な品質の維持に大きな役割を果たしたことは、よく知られている。同様に、簡易保険局が活発な広報活動を展開するにあたっては、ポスターや葉、マッチレットに至る多様な媒体に載る美術的表象をコントロールし、場合によっては内製ができるように、職員として複数の美術家を抱えていた。史料からは、前田慶蔵、浅井松彦、水平譲、三村常吉、泉治作、田沢八甲といった人々の名が確認できる。彼らは幕末生まれの樋畑や小代よりもおおむね一世代若く、本務のかたわら文展や帝展に応募、入賞しているケースもめずらしくない。美術

2 簡易保険の宣伝状況—ポスターの新規調製其他」、『通信協会雑誌』12月（174）、通信協会、1922-12。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/2776475>（参照 2024-12-17）。

3 通信文化協会 博物館部（郵政博物館）『郵政博物館と映画』（資料図録第59号）、2024。

史側から見ると一律に「画家」であるが、彼らのこの時期の生活を見ると、通信省の宣伝広報担当職員を務めながら、折々公募展に出品していた、といったほうが、実態に即しているように思われる。たとえば、泉治作は大正期新興美術運動の代表的グループである「アクション」の同人として、神原泰や古賀春江とともに名を連ねている⁽⁴⁾。田沢八甲は、1922年（大正11）に白馬会の流れを汲む葵橋洋画研究所から簡易保険局に入って広告宣伝を担当し、戦後は郵政省に1961年（昭和36）まで勤めた⁽⁵⁾。また、省外で委嘱された美術家も多彩であり、新版画（川瀬巴水）や漫画（岡本一平）など、当時最新の分野にも及んでいる。

4 用途別の分類

以下、作品の用途によって分類を行い、多少の解説を加える。

（ア）簡易保険広報用ポスター原画

これらは、いずれも四六判半截、四六判四つ切といった大きなサイズのポスターの素材であり、原画もそれに対応して大きい。宮本三郎「鳩と女」（4703-12）、作者未詳「兵と農婦」（4703-13）、笠松紫浪「母と子」（4703-18）、岡本一平「綱渡り図」（4703-22）などが、これに当たる。

ポスター自体については別途調査に着手しているが、1920年代から30年代にかけて、凸版印刷、大日本印刷、共同印刷など大手印刷会社が受注した多色刷りの大判ポスターが次々と発行されている。当時最新の技術を使って、原画の色彩やマチエールの再現に意が払われている。

（イ）小型販促品

簡易保険局では、ポスターのような判型の大きな媒体だけでなく、小さな販促品についても力を入れている。たとえば、松岡映丘「雛」（4703-23）、岡崎義香「老・壮・幼」（4703-24）の2点は、作品のみではその制作意図が不明だが、次に掲げる二つの雑誌記事を見ると、ターゲットを絞った広報の素材として、制作が委嘱されたことがわかる。用途未詳の作品の中には、このような媒体に使われたものがあることが想像される（下線筆者）。

女学生に葉の配布 簡保局の粋な試み

簡易保険局では、本年三月高等女学校卒業生に簡易保険と郵便年金の思想を鼓吹する為に、桃の節句に因ある絵画の美しい葉を調製して全国女学校に配布することにした。表面上部の絵は東京美術学校教授松岡映丘揮毫の雛人形で下部は説明文に裏面は吸取紙になっている。

（『保険銀行時報』（1312）、保険銀行時報社、1927年3月）

簡保のしおり

簡易保険局では昭和三年正月を期し全国高等女学校生徒に簡易保険と郵便年金の思想を普及せしむる為め、葉を全国女学校へ配布することにした。表面上部の絵は岡崎義香氏の揮毫になる幼、壮、老を表象したる美しい王朝時代の人物画で、下部は説明文 裏面は吸取紙になっている。

（『保険銀行時報』（1352）、保険銀行時報社、1927年12月）

4 朝日新聞社、北海道立函館美術館、長野県辰野町郷土美術館編『アクション展』、1989。
5 田沢八甲『白雲はるかなり』、田沢恭二、1979.9. 国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12562453>（参照 2024-12-23）。

(ウ) 戦争画

田中佐一郎「比島の民家」(4703-2)、寺内萬次郎「戦線に飲む」(4703-3)、有岡一郎「南海を征く」(4703-4)、鶴田吾郎「爆撃より帰る」(4703-6)の4点は、第二次大戦中の戦争画と見られる。当時の記録と照合すると、1942年に南方の占領地へ派遣された美術家たちの中に、寺内、有岡、鶴田の名が見え⁽⁶⁾、また田中については、同じころ米軍撤退後のフィリピンにいたことが明らかである⁽⁷⁾。いずれも小品だが、どのような形で利用されたかは確認できていない。あるいは企画は進められたが戦況の悪化で未発行となったものかもしれない。

(エ) 『小画帖 簡易保険局』

『小画帖 簡易保険局』と題された画帖に収められた台紙貼りの絵画が5点ある(4703-25,26,27,38,30)。このうち、長原孝太郎「松竹に宝珠」(4703-27)は、『通信協会雑誌』218号(簡易保険創始十周年記念号、1926年10月)の表紙原画である。同じ画帖に含まれる他の作品も、大きさや体裁から雑誌の表紙絵や挿絵かと見られるが、利用先を同定するには至っていない。

このように、大正から昭和戦前期の簡易保険、郵便貯金事業の各所には、同時代の美術家の手になる絵画表象がちりばめられていたのである。

目録凡例

- 目録には、名称・作者・品質形状・寸法・制作年代と各作品の通信事業における用途とその根拠に関する情報を記載した。扇面は原画料紙全体の寸法と扇面とした際の縦と横幅の寸法を併記した。
- 名称は、作品自体に付与されている場合や同時代の資料に記述がある場合は、当該の名称を採用し、不明である場合は、調査者が仮に名称を付し、これを〔 〕で囲んだ。
- 作者が判明する場合は、氏名と生没年を記載した。
- 事業における原画の用途が判明する場合は、その旨を記し、ポスター等の製品が当館に所蔵されている場合は所蔵品番号を注記した。
- 著作権保護期間が満了した作品と、作者不明および没年不明の作者の作品については、画像を掲載した。作品と作者の経歴についてご存知の方は、郵政博物館に情報をお寄せいただきたい。

6 『朝日年鑑 昭和18年』の「美術」部門に「南方従軍画家派遣」「彩管部隊を南方へ派遣」という1942年4月から5月にかけての二つの記事があり、以下の美術家の名が挙がっている。

川端龍子、藤田嗣治、中村研一、宮本三郎、山口蓬春、吉岡堅二、鶴田吾郎、清水登之、寺内萬治郎、中山魏、福田豊四郎(以上、陸軍から派遣)、安田靫彦、矢澤弦月、三輪晃勢、江崎孝坪、藤田嗣治、中村研一、奥瀬英三、川端実、御厨順一、有岡一郎、宮本三郎、佐藤敬、三国久、石川滋彦、藤本東一良、中村直人(以上、海軍から派遣。陸海軍で同一人の重出あり)。

7 田中佐一郎「トンネル要塞」、『大東亜戦争陸軍報道班員手記 バタアン・コレヒドール攻略戦』、1942. 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1130957> (参照 2024-12-23)。

3704- 1

朝霧甲斐の山里

大久保作次郎 (1890-1973)

キャンバス、油彩 縦41.0cm 横53.1cm

(年代未詳)

* 郵便貯金

3704- 2

人物

三田 (さんた) 康 (?-1968)

キャンバス、油彩 縦40.6cm 横21.3cm

(年代未詳)

* 郵便貯金

3704- 3

[野球少年]

(作者未詳)

キャンバス、油彩 縦41.2cm 横27.1cm

(年代未詳)

* 郵便貯金



3704- 4

[少年と風] (郵便貯金百億円記念)

藤田嗣治 (1886-1968)

キャンバス、油彩 縦26.1cm 横21.0cm

1942年 (昭和17)

(キャンバス裏面墨書)「逓信省/百億郵便貯金/
記念絵葉書用/原画/十七、二、十一、」

* 逓信協会発行：郵便貯金百億円記念絵葉書 原画

3704-A

朝の富士 (伊豆三津浜)

石川寅治 (1875-1964)

キャンバス、油彩 縦59.5cm 横71.5cm

(年代未詳)

* 郵便貯金



3704-F

[書家]

中村不折 (1866-1943)

キャンバス、油彩 縦65.3cm 横53.4cm

1940年 (昭和15)

* 郵便貯金広報ポスター原画



4703- 1

風景

石井柏亭 (1882-1958)

板、油彩 縦18.5cm 横24.0cm

昭和時代 (年代未詳)

* 簡易保険



4703- 2

比島の民家

田中佐一郎 (1900-1967)

キャンバス、油彩 縦22.0cm 横27.5cm

1942-43年 (昭和17-18)

* 簡易保険



4703- 3

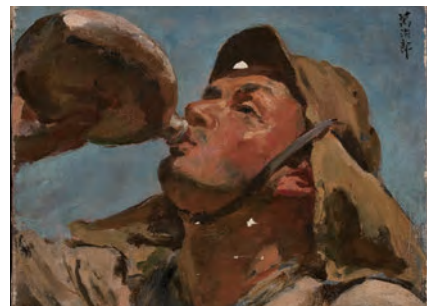
戦線に飲む

寺内萬治郎 (1890-1964)

キャンバス、油彩 縦21.5cm 横27.5cm

1942-43年 (昭和17-18)

* 簡易保険



4703- 4

南海を征く

有岡一郎 (1900-1966)

キャンバス、油彩 縦24.3cm 横33.2cm

1942-43年 (昭和17-18)

* 簡易保険



4703-5

百合

(作者未詳)

キャンバス、油彩 縦31.5cm 横40.5cm

(年代未詳)

*簡易保険



4703-6

爆撃より還る

鶴田吾郎 (1890-1969)

キャンバス、油彩 縦21.5cm 横27.0cm

昭和時代

*簡易保険

4703-9

花

泉治作 (1893-1964)

キャンバス、油彩 縦61.0cm 横45.5cm

(年代未詳)

*簡易保険



4703-10

山

泉治作 (1893-1964)

キャンバス、油彩 縦38.0cm 横45.5cm

(年代未詳)

*簡易保険



4703-11

山へ

大久保作次郎 (1890-1973)

キャンバス、油彩 縦65.5cm 横53.0cm

1949年 (昭和24)

*定額貯金広報ポスター原画：郵政博物館 XDB-6621

4703-12

鳩と女

宮本三郎 (1905-1974)

紙、鉛筆・パステル・水彩 縦60.5cm 横45.5cm

1937年(昭和12)か

*簡易保険広報ポスター原画

4703-13

兵と農婦

(作者未詳) 未詳 「信」

キャンバス、油彩 縦73.3cm 横53.5cm

(年代未詳)

*簡易保険広報ポスター原画：郵政博物館 XEB-0035



4703-14

飛燕の図(扇面)

堅山南風 (1887-1980)

絹本着色 まくり (本紙) 縦30.5cm 横45.4cm

(扇面寸法) 縦12.5cm 幅44.5cm

1942年(昭和17)

*簡易保険局扇子原画

4703-15

桔梗とテントウムシ(扇面)

郷倉千鞠 (1892-1975)

絹本着色 まくり (本紙) 縦30.4cm 横54.3cm

(扇面寸法) 縦11.2cm 幅47.2cm

(年代未詳)

*貯金局扇面原画

4703-16

鮎と撫子

荒木十畝 (1873-1944)

絹本着色 まくり (本紙) 縦30.3cm 横54.3cm

(扇面寸法) 縦11.2cm 横45.5cm

(年代未詳)

*簡易保険



4703-17

菊花

水上泰生 (1877-1951)

絹本着色 縦57.0cm 横52.2cm

1929年 (昭和4)

*簡易保険広報ポスター原画: 郵政博物館 XED-0018



4703-18

母と子

笠松紫浪 (1898-1991)

絹本着色 縦56.8cm 横50.0cm

1934年 (昭和9)

*簡易保険広報ポスター原画: 郵政博物館 XEF-0007

4703-19

稲に村娘

三村常吉 (石邦) (1903-1997)

絹本着色 縦66.2cm 横50.0cm

1933年 (昭和8)

*簡易保険広報ポスター原画: 郵政博物館 XEB-0021

4703-20

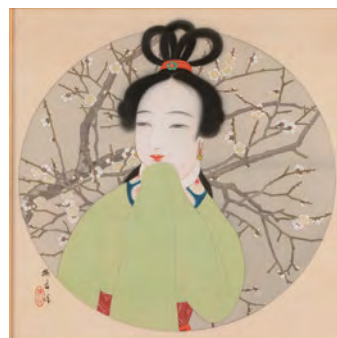
羅孚仙

松村梅叟 (1885-1934)

絹本着色 縦58.0cm 横57.0cm

1930年 (昭和5)

*簡易保険広報ポスター原画: 郵政博物館 XED-0007



4703-21

姉と弟

石渡風古 (1891-1961)

絹本着色 縦43.5cm 横51.4cm

1931年 (昭和6)

*簡易保険 (小児保険) 広報ポスター原画



4703-22

綱渡り図

岡本一平 (1886-1948)

紙、水彩 縦74.2cm 横53.7cm

1927年 (昭和2)

*簡易保険広報ポスター原画：郵政博物館 XEB-0037



4703-23

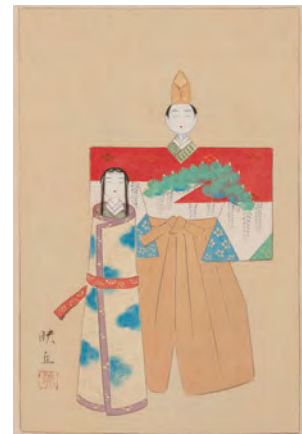
雛

松岡映丘 (1881-1938)

絹本着色 縦31.0cm 横22.4cm

1926年 (大正15)

*簡易保険局広報しおり原画



4703-24

老・壮・幼

岡崎義香 (1876-没年未詳)

絹本着色 縦25.0cm 横16.4cm

1927年 (昭和2)

*簡易保険局広報しおり原画



4703-25

「龍膽」(『小画帖 簡易保険局』のうち)

松本嘉八 (1893?-没年未詳)

画帖 絹本着色 縦18.9cm 横11.9cm

1928年 (昭和3)

*簡易保険局広報しおり原画：郵政博物館 4983-0085



4703-26

「稲と蜻蛉」(『小画帖 簡易保険局』のうち)

松本嘉八 (1893?-没年未詳)

絹本着色 縦21.2cm 横29.0cm

1928年(昭和3)

* 簡易保険



4703-27

「松竹に宝珠」(『小画帖 簡易保険局』のうち)

長原孝太郎 (1864-1930)

画帖 絹本着色 縦22.5cm 横15.0cm

1926年(大正15)

『通信協会雑誌』簡易保険創始十周年記念(218号)、
通信協会、1926年10月 表紙原画



4703-28

「松」(『小画帖 簡易保険局』のうち)

伊藤素軒 (1876-1957)

1930年(昭和5)

画帖 絹本着色 縦22.9cm 横30.8cm

* 簡易保険



4703-29

本庁正面図

川瀬巴水 (1883-1957)

1929年(昭和4)

紙、水彩 縦21.0cm 横32.8cm

* 簡易保険広報絵葉書 原画



4703-30

「黄櫨と四十雀」(『小画帖 簡易保険局』のうち)

長野草風 (1885-1949)

画帖 絹本著色 縦27.0cm 横34.3cm

1933年(昭和8)

* 簡易保険



(ゆうせいれきしぶんかけんきゅうかい だいろくぶんかい)